

標準B型(施工計画重視型)における評価項目及び評価基準(標準例)

評価項目		評価基準	評価点
企業評価	VE提案 管内直轄/過去3年間	完成時評定 III、IV、V、VI評価 VE提案の採用実績	2点 1点
	優良工事表彰実績(地域貢献活動表彰を除く) 管内直轄/過去3年間	大臣、農村振興局長 (当該)農政局長 表彰	2点 1点
	工事成績評定(平均点) 管内直轄/過去3年間	85点以上	3点
		80点以上~85点未満	2点
		75点以上~80点未満	1点
	地域への貢献、地域貢献活動への支援 (右の標準例に示す活動) 管内直轄/過去3年間	優良工事表彰における地域貢献活動の表彰実績有り。 土地改良施設等を対象とした災害活動実績有り。	2点
		管内における農地・農業用水等の資源保全、造成施設の保全管理、農村環境保全、住民参加型直営施工、耕作放棄地解消活動、農村地域防災活動等に対して企業としての継続的な支援実績又は災害活動実績有り。	1点
	手持ち工事量 手持ち工事量比率=管内直轄の当該年度の受注額÷管内直轄の過去3年の平均受注額	手持ち工事量比率 0.5未満	2点
		手持ち工事量比率 0.5以上1.0未満	1点
	不正又は不誠実な行為等 管内直轄/基準とする日から以降1年間	営業停止、指名停止、文書注意の履歴有り。	-2点
(6項目)			最高11点
技術者評価	配置予定技術者の資格取得後の経験年数 土木工事は(一又は二級土木施工管理技士)	10年以上(1級)	1点
	配置予定技術者が併せ持つ資格	技術士(農業土木又は当該工事に該当する技術部門の選択科目)、農業土木技術管理士、畑地かんがい技士、農業水利施設機能総合診断士、コンクリート技士等。 (※対象とする資格については、工事の特性に応じ、案件毎に定め入札説明書に明示すること。)	1点
	同種工事の従事役職 全国同種工事	過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人	2点
		過去10年間 主任(監理)技術者、現場代理人	1点
	優良工事表彰実績 管内直轄/過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価	大臣、農村振興局長 (当該)農政局長 表彰 (※担当技術者としての表彰実績は1点を上限とする。)	2点 1点
		工事成績評定(平均点) 管内直轄/過去3年間 主任(監理)技術者、現場代理人、担当技術者としての従事を評価	85点以上
	80点以上~85点未満		2点
	継続教育(CPD)への取り組み状況	75点以上~80点未満 (※担当技術者としての従事の評価は1点を上限とする。)	1点
農業農村整備に関する継続教育の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。 継続教育の前年度取得ポイント証明(15ポイント以上)有り。		2点 1点	
(6項目)			最高11点
技術提案	技術提案の適切性	技術提案の内容を評価し、評価点の範囲内で加点する。	1~20点
	以下の事項から課題を提示し、5提案を求める (土地改良法等に基づく農業農村整備工事で構築する構造物の目的と役割に関する知見 施工計画で考慮すべき事項 工期設定・工程管理 発注者が指定した施工上の課題への対応 発注者が指定した部材・工法等の品質の確認方法、管理方法 上記以外の項目)	(※提案に対する具体的な評価・加点の基準については、工事の特性に応じ、案件ごとに定め入札説明書に明示すること。)	
		適切である。 不適切である。	0点 欠格
(1項目)			最高20点
(12項目)			最高42点
企業評価に関する選択項目(予定価格が2.3億円~5億円の工事を対象に、企業評価の項目に追加して評価することができる。)(別紙 ②)			
企業評価	地元企業活用 (本工事の契約額に占める地元企業との下請予定契約金額の割合を評価)	35%以上	2点
		25%以上 35%未満	1点
		下請け業者は直轄同種工事(規模は問わない)の元請け施工実績有り。	1点